

かわとはきものギャラリー

②アジア・アフリカ・中近東

神奈川県企業博物館連絡会顧問 福原 一郎

ヨーロッパのはきものと比べてアジア、アフリカ、中近東のはきものは、各地域の気候・風土に合わせて用いられる開放的なものが多くみられます。

紀元前から用いられてきたエジプトのサンダルや、モンゴルの寒い地方で履かれるブーツで、膝までの長さで厚いフェルトの

底がついて、爪先が反り上がっているものなどに、風土との関連がよく表れています。この傾向はアジアのはきものに多くみられ、素材として革、布、木など用いたミュールのようなサンダルや、浅靴があり、民族的な祭りなどに履かれるものもあります。

写真は東京都立皮革技術センター台東支所「かわとはきものギャラリー」収蔵展示資料より

- 1 エジプト時代のサンダル (レプリカ)
- 2 ナイジェリアのサンダル
- 3 エチオピアの毛皮のサンダル
- 4 中国の纏足^{てんそく}の靴
- 5 トルコの木製チョピン (レプリカ)
- 6 朝鮮李朝の木靴
- 7 朝鮮李朝男子の革靴
- 8 モンゴルの祭礼用長靴
- 9 インドの浅靴
- 10 インドの革靴
- 11 アフガニスタンのバブーシュ
- 12 インドネシアのサンダル
- 13 マレーシアのビーズサンダル
- 14 パキスタンの革靴
- 15 ウズベキスタンの革靴



